

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 老年看護学分野科目

コード:250003-0

高齢者援助論 Life Support of the Elderly

担当教員	北村言 松本勝 大橋史弥				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	○
Keywords	加齢、総合的アセスメント、家族、せん妄、転倒、安全、倫理、組織				
学習目的・目標	<p>《学習目的・目標》</p> <p>高齢者が起こし易い健康問題と潜在する倫理的課題を学び、倫理的思考を土台にした高齢者および家族に対する専門的で、かつ高度な看護実践力を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が起こしやすい健康問題とそこから派生する高齢者と家族の問題を説明できる ・家族看護理論に基づき、高齢者と家族を総合的にアセスメントする重要性が理解できる ・高齢者の健康問題(せん妄・転倒など)に対する、高度で専門的なダイレクトケアについて具体的に説明できる ・医療現場における安全確保と潜在する倫理的問題について、具体的に述べるができる ・終末期における援助と、倫理的課題に対する専門的な思考の重要性が説明できる 				
授業計画・内容	<p>《授業展開の方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論文,報道をもとに高齢者を取りまく倫理的な問題に対する実態と社会の動向を学ぶ。 ・家族看護理論を理解し、高齢者と家族を総合的にアセスメントする意味を討議する。 ・転倒とせん妄に関する観察と予防的取り組み、胃瘻造設における高齢者・家族への教育的取り組みなどを、研究及び実践の報告から討議する。 ・高齢者の倫理的問題に関する組織の力の重要性について討議を行う。 				
回	内容	授業方法	担当		
1-3	家族看護理論に基づく高齢者と家族を中心とした看護のあり方	講義 討議	北村言 松本勝 大橋史弥		
4-5	せん妄を起こしやすい高齢者と家族への援助	講義 討議	北村言 松本勝 大橋史弥		
6-9	転倒を起こしやすい高齢者と家族への援助 1. 転倒アセスメント 2. 骨粗しょう症の高齢者への栄養、運動に関する援助	講義 討議	北村言 松本勝 大橋史弥		
10-12	終末期ケアの胃瘻造設における高齢者と家族への看護	講義 討議	北村言 松本勝 大橋史弥		
13-14	高齢者の医療安全に関連した倫理的問題、終末期の看護における高齢者の尊厳を守る援助(看護管理の視点)	討議 討議	北村言 松本勝 大橋史弥		
15	高齢者と家族の援助における老人看護専門看護師の専門性	討議	北村言 松本勝 大橋史弥		
教科書					
参考図書等					
評価方法・基準	討議への参加度(30%)、プレゼンテーション(30%)、レポート(40%)				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	高齢者を取り巻く社会の変遷を理解し、高齢者看護における倫理的問題を考えていきましょう。				